

2012 年度 前期 水曜日 4 限 (15:10-16:40) トップマネジメント講座 (学部生対象)

アントレプレナーに学ぶ新規事業展開のビジネスモデル

担当 (窓口教員): 経営学研究科 忽那憲治

【目的】

アントレプレナーが新規事業を展開する際のビジネスモデルについて学習することを目的とする。併せて、アントレプレナーというキャリアの選択についても学生には考えてもらいたい。

【講義の進め方】

アントレプレナー1 名に 2 回の講義を担当していただく。第 1 回目は、アントレプレナーから自社の事業のビジネスモデルについて講演(45 分)の後、学生との質疑を行う(45 分)。第 2 回目は、学生はビジネスモデルの改善案について自分の意見をまとめ、アントレプレナーに対して提案し議論する。

【テキスト】

忽那憲治『中小企業が再生できる 8 つのノウハウ』朝日新聞出版、2010 年。

講義で用いる資料は下記のウェブにファイル形式で配布します。紙ベースでの配布は行わないので、各自印刷して講義に出席してください。ファイルのパスワードについては、教務係で確認してください。

<http://www.b.kobe-u.ac.jp/~kutsuna/lecture.html#gakubu>

【成績の評価方法】

第 1 回講義の内容に関するレポート (A4 で 2 枚程度): 5 点 * 1 回 = 5 点

ゲスト講師の事業のビジネスモデルに対するアドバイスのレポート (A4 で 2 枚程度を 7 回): 5 点 * 7 回 = 35 点

期末試験: 60 点

(ゲスト講師の事業のビジネスモデルに対するアドバイスを行う 7 回の各講義において、最も素晴らしいとゲスト講師が評価した提案 2 名に対して各 10 点のボーナス得点を与えます。)

【講義のスケジュール】

第 1 回 (4 月 11 日) イントロダクション ビジネスモデルを考える視点

担当: 忽那憲治 神戸大学大学院経営学研究科 教授

<http://www.b.kobe-u.ac.jp/~kutsuna/>

忽那憲治『中小企業が再生できる8つのノウハウ』朝日新聞出版、2010年。

第2回（4月18日）「コミュニティ型ホテル事業の可能性：ホテル事業再生を通じてコミュニティを創造する」

担当：長田一郎 株式会社ホロニック 代表取締役

<http://www.hol-onic.co.jp/>

第3回（4月25日）

担当：長田一郎

第4回（5月2日）「全国のメディア連動による地域密着型ビジネスマッチングサイトの構築」

担当：河本芙美子 株式会社ファーストブランド 代表取締役

<http://www.firstbrand.co.jp/>

第5回（5月9日）

担当：河本芙美子

第6回（5月16日）「農業分野における新規事業の考え方」

担当：重田秀豪 東果大阪株式会社 代表取締役社長

<http://www.toka-osaka.co.jp/>

第7回（5月23日）

担当：重田秀豪

第8回（5月30日）「医師のネットワークを利用したソーシャル医療事業」

担当：菅原俊子 株式会社ハート・オーガナイゼーション 取締役（創業者）

<http://www.heartorg.co.jp/>

第9回（6月6日）

担当：菅原俊子

第10回（6月13日）「光・レーザ技術による高付加価値産業の創出」

担当：岡田穰治 スペクトロニクス株式会社 代表取締役社長

<http://www.spectronix.co.jp/>

第 11 回 (6 月 20 日)

担当：岡田穰治

第 12 回 (6 月 27 日) 「情報通信革命期の事業イノベーション・ワイヤレスソリューションの事業モデル」

担当：渋谷順 株式会社SDVホールディングス 代表取締役社長

<http://www.sdv.jp/>

第 13 回 (7 月 4 日)

担当：渋谷順

第 14 回 (7 月 11 日) 「ベンチャーによる新産業創出への挑戦：bjリーグと高松ファイブアローズ」

担当：星島郁洋 高松ファイブアローズ CEO

<http://www.fivearrows.jp/>

第 15 回 (7 月 18 日)

担当：星島郁洋